

新年度の挨拶

当センターは平成26年4月開設以来皆様方のご協力により、今年度10年目を迎える事となりました。開設当初に抱いた、障がい者と真摯に向き合う初心を忘れる事無く、また、「障害をもつ人も、もたない人も、地域の中で生きる社会こそ当たり前の社会である」ニルス・エリク・バンクーミケルセンが提唱したノーマライゼーションの理念の基、引き続き、障がい者が地域で自立した社会生活・就業生活に対する支援を関係機関と連携・協力し進めていきたいと思っております。皆様方のご理解とご協力をお願い致します。

所長 中村 英樹



障害者雇用の取り組みについて



今回は大型トラックのドライバー雇用で、職場の取り組み方の好事例についてお伝えします。

改善前の状況

生じていた課題…1

聴覚障害のある方の採用では、社内に手話ができる人がいないため、日々のコミュニケーションをどのようにすればいいか課題がありました。当初、身振り手振りや筆談で対応していましたが、業務の指示内容がどこまで伝わっているか不安がありました。

改善策

【不安の軽減・コミュニケーションの改善工夫・就労支援機器】
スマートフォンや電子メモパッドを整備し、コミュニケーションを図りました。



改善後の効果

聴覚障害のないドライバーが手話を学ぶ時間が少ない状況の中、スマートフォンを有効に活用することで社内コミュニケーションが円滑になりました。本人も含め社員の負担が軽減でき、以前と比較して気軽に体調や悩みをタイムリーに報告できるようになり結果、業務実績が向上しました。



A社 業種:ドライバー

聴覚障害者のマークです



聴覚障害があっても、周囲の理解と様々な工夫で改善されることは多いです。本人からの聞き取りや、関係機関と相談するなどし、本人だけではなく、一緒に働く皆さんにとっても働きやすい環境となるとうれしいですね。

改善前の状況

生じていた課題…2

聴覚障害のあるドライバーと、配達先の顧客とのコミュニケーションに課題がありました。顧客に対し、聴覚障害のあるドライバーが配送を担当していることの理解を得る必要がありました。

改善策 2

【雇用 職務遂行の改善・工夫 不安の軽減】
聴覚障害のあるドライバーの名刺の裏面に聴覚障害者標識を表示し、初回配達時には幹部が同行して顧客に挨拶をすることで、顧客の理解を得るようにしました。

改善後の効果

聴覚障害者標識のある名刺や電子メモパッドは、配達先でのコミュニケーション手段として有効活用されています。それらを遂行することで顧客にスムーズに理解してもらえ役立っています。現在では広く周知され、聴覚障害者も安心して業務に専念できています。



しもきた活動紹介

新入社員の紹介

この春、めでたく就職された新入社員の皆さんを紹介します。
 男性7名 福祉施設、小売業、自動車販売、調理補助、清掃業
 女性3名 福祉施設、小売業、教育機関
 就職を目指した皆さんは、実習で経験を積み重ね社会人の仲間入りをしました。
 職種は様々ですが目標をもって輝かしい春を迎えることができ、とても嬉しいことですね。



辞令交付の様子です。



品出しをしています。



調理補助をしています。



作業の様子です。



車内清掃中です。



清掃作業中です。



リサイクル商品の仕分
をしています。



ラップ掛けをしています。



介護補助で清掃をしてい
ます。



介護補助で寝具の整
理をしています。



年間予定

- ①在職者交流会
- ②ピアサポート
- ③支援者セミナー
- ④企業交流会
- ⑤事業連絡会議

令和5年度 しもきた事業実績(4月末現在)

登録者	212 名
在職者	116 名
今年度就職者	10 名
相談支援件数	239 件